

後樂園競輪再開に断固反対する要請書

戦後まもなく開催された後樂園競輪は、昭和四八年に文京区民をはじめ多くの都民の願いによって廃止されました。その際に、以後、施行者の如何を問わず、後樂園競輪場を自転車競技の用に供してはならないこととしました。

しかし、平成一五年六月の都議会で、石原東京都知事が後樂園競輪の再開を言明されました。

わが文京区は、鷗外・一葉・漱石をはじめ、多くの文人が住み、あまたの作品を生み出し、かつ作品の舞台ともなった歴史と文化のまちであり、さらに東京大学をはじめ多くの学校が所在する教育のまちであります。

かつて、後樂園競輪があつた時代は、交通渋滞、ごみの投棄、盗難、女性・子どもに対する迷惑行為が発生しており、地域への悪影響は大なものであります。後樂園競輪の再開は、他の競輪場の車券をも発売することが十分予想され、ほぼ一年中地域環境に悪い影響を与えることとなります。

私たちは、歴史・文化・教育に恵まれたこの地を「文の京」(ふみのみやこ)として、教育のまちにふさわしいまちづくりを目指しているところであります。このまちに、後樂園競輪はふさわしくありません。

よってここに、二万二千四百一筆の後樂園競輪再開に断固反対する署名を添えて、後樂園競輪を再開しないよう強く要請します。

平成十六年十月二十一日

競輪再開反対文京区民連合会長

菅沼 利雄

文京区長

煙山 力

文京区議会議長

東村 昭平

東京都知事 石原 慎太郎 様